

ナショナル 熱交換気ユニット 加湿付

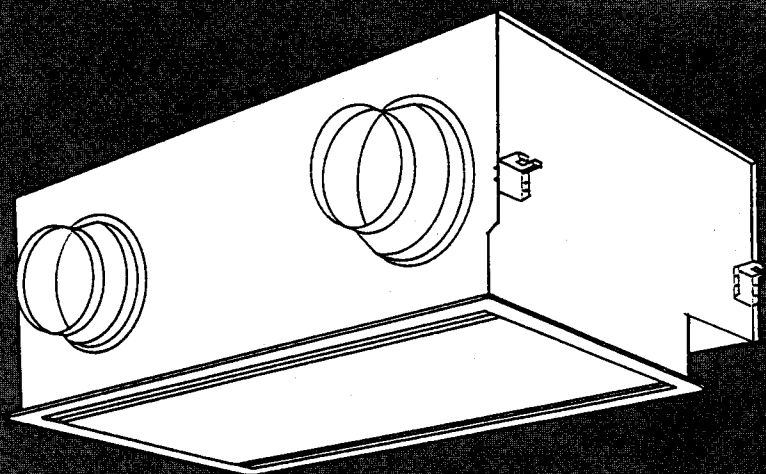
取扱説明書

(工事説明書別添付)

National

品番 FY-E25BR1L

FY-E50BR1L



このたびは「ナショナル熱交換気ユニット」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、再読してください。

品番	カセット式ルーバー品番(別売品)
FY-E25BR1L	FY-RLP253
FY-E50BR1L	FY-RLP513

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名前	6
特に注意していただきたいこと	7
標準設置例	8
ご使用方法	9
お手入れの方法	9
アフターサービスについて	13
仕様	14

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

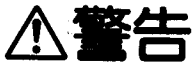
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の内容で区分し、説明しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

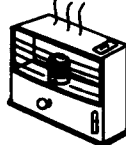


危険

■開放型燃焼器具(暖房機)の
給排気用として使用しない



禁止



家の中でガス、石油ストーブなどを使用するときは、それ専用別途給排気設備を必ず使用してください。

⚠ 警告

- 異常時(こげ臭いなど)は運転を止めて専用ブレーカーを「OFF」にする



異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

- お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

- 吸込口・吹出口に指や棒を入れない



禁止

ファンが高速回転しているのでけがの原因になります。

- 可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気する



ユニットを運転すると、電気接点の火花により爆発火災の原因になることがあります。

- 改造は絶対にしない
分解や修理はご自分でしない



禁止

修理に不備があると感電や火災などの原因になります。

- お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

- 外気取入口には防鳥網または同等のものを取り付ける。



鳥巢等の異物がある時は取り除いてください。
室内が酸欠の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 本体からの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない



禁止

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

- 本体を水洗いしない



禁止

感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

■動植物に直接風をあてない



禁 止



動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

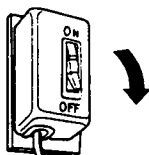
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認の上使用ください。

■特殊用途については、十分な確認をする



品質低下などの原因になることがあります。

■長期間ご使用にならない場合は、安全のため専用ブレーカーを「OFF」にする



ホコリが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。

■ユニットを取り外す時は、傾けない



禁 止

内部に溜まっている水が滴下して家財などを濡らす原因になることがあります。

- お買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

■ぬれた手でスイッチ操作しない



禁 止



感電の原因になることがあります。

■ユニットの上に水の入った容器などを乗せない



禁 止

水がこぼれたとき、ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になります。

■可燃スプレーは、本体の近くで使わない



禁 止

発火の原因になることがあります。

■定格電圧以外で使用しない



禁 止

火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

- ご自分で据え付けや移動・再据え付けはしない



禁止

不備があると落下・感電・火災などの原因になります。

- お買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

- 外気取入口は、排出空気を直接流入しない位置に設置する



室内が汚染され、健康障害の原因になることがあります。

- 外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設置する



室内が酸欠の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 強度が十分で、安定した所に設置する



建物の構造により、取り付け強度が不十分な場合がありますのでご注意ください。

- 専用ブレーカーを取り付ける。
設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要



漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

- お買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

- アース工事が必要です



アース線
接続

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

- ドレン排水口がついているものは、確実に排水するように配管する



不完全な場合は、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

⚠ 注意

■機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所には設置しない



禁 止

ガスによる中毒、発火の原因になることがあります。

■油煙の多い場所には取り付けない



禁 止

フィルターや熱交換素子に油が付着して使用不能になる場合があります。

■浴室など湿気の多い場所には取り付けない

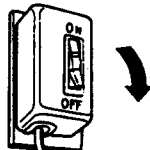


禁 止

感電や故障の原因になります。

⚠ 警告

■フィルター、熱交換素子を掃除する場合、必ずスイッチを切り、専用ブレーカーを「OFF」にする



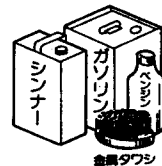
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。また、高所作業になる時は、キャタツをしっかりと固定してください。

⚠ 注意

■フィルター、熱交換素子を掃除する場合、ベンジン、金属タワシなどを使用しない



禁 止



使用不能になります。

■フィルターは定期的に清掃する



フィルターに多量の塵埃が付着すると、室内が酸欠の原因になります。

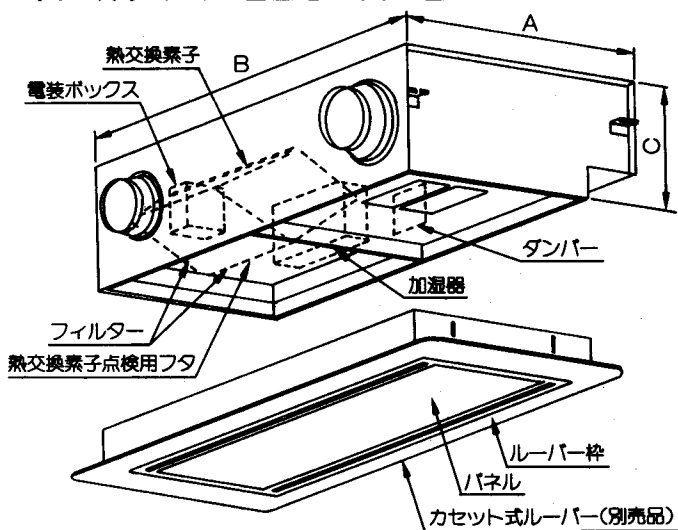
■フィルター、熱交換素子を掃除する場合、手袋を使用する



けがの原因になります。

各部の名前

〔本体〕 FY-E25BR1L

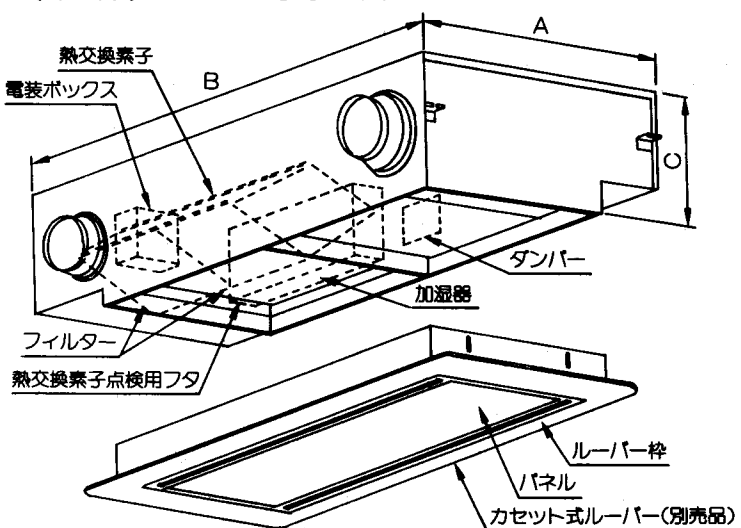


単位：mm

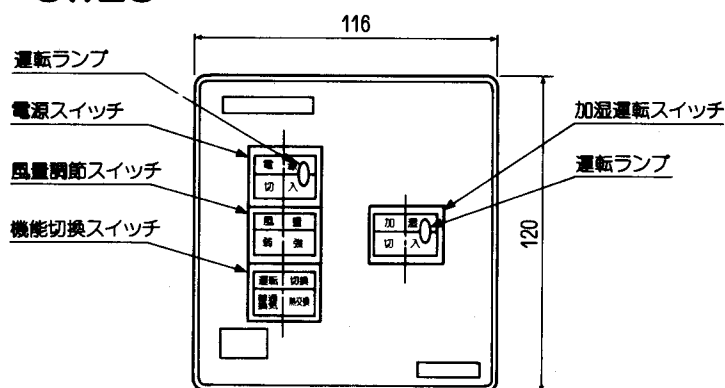
品 番	A	B	C
FY-E25BR1L	876	968	440
FY-E50BR1L	876	1458	460

品 番	カセット式ルーバー品番(別売品)
FY-E25BR1L	FY-RLP253
FY-E50BR1L	FY-RLP513

〔本体〕 FY-E50BR1L



〔スイッチ〕 FY-SW23 (別売品)

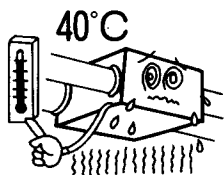


特に注意していただきたいこと

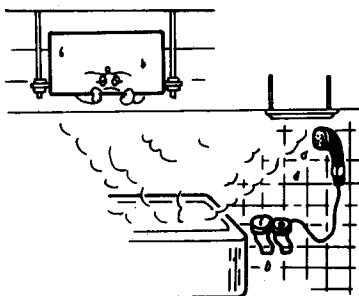
取り付けのご確認

この熱交換気ユニットは事務所、会議室などの専用熱交換気ユニットです。
本体や給排気グリルが次のような場所に取り付けられていないか確認してください。

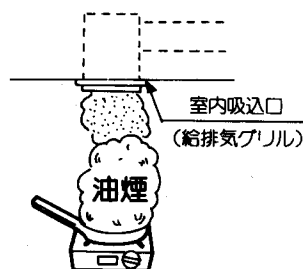
高温や直接炎が当たる場所
熱交換気ユニット、給排気グリル付近の温度が40℃以上になるときは避けてください。高温で使用されますとフィルターや熱交換素子の変形やモーター焼損の原因となります。



湿気の多い場所
浴室など湿気の高い場所には取り付けないでください。
感電や故障の原因になります。



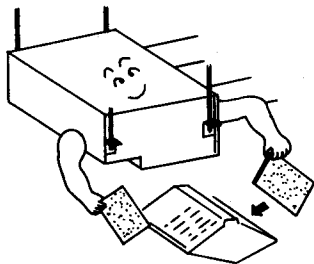
調理室など油煙の多い場所
フィルターや熱交換素子に油が付着して使用できなくなります。



取付場所・取り付けに関して不具合があった場合はお買求めの販売店
または工事店へご相談ください。

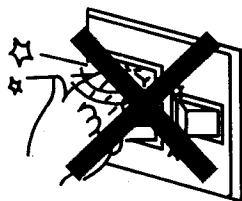
ご使用にあたって

フィルターは必ず使用してください。フィルターを使用しないと熱交換素子にゴミやホコリが詰まり性能が低下し使用不能になる場合があります。

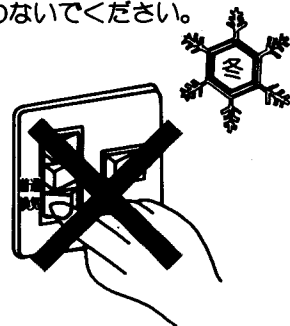


スイッチの切換えは、確実におこなってください。

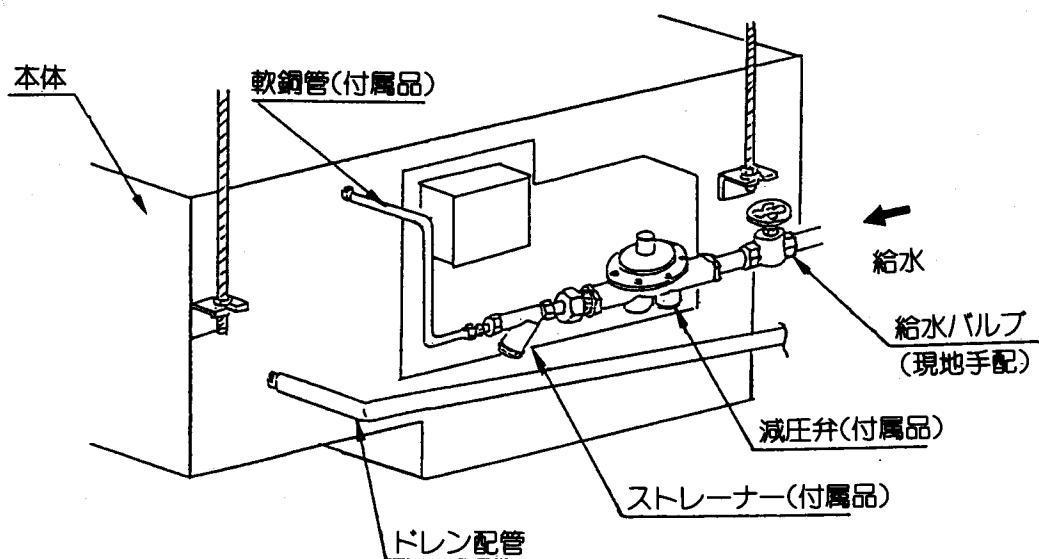
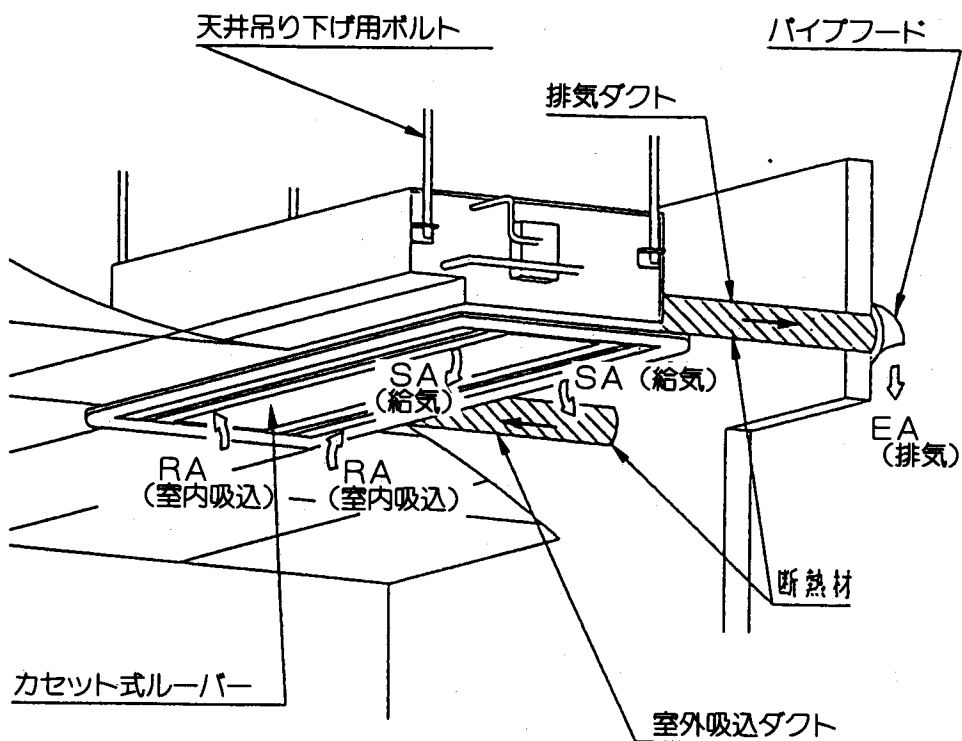
特に急な再切換え操作をおこないますと誤作動の原因になるばかりでなく、スイッチや本体内のリレーにも悪影響を与え、故障の原因にもなります。



冬期、室内を暖房しているとき
「普通換気」で運転しますと、本体や室内吹出口に結露することがありますので絶対におこなわないでください。



標準設置例

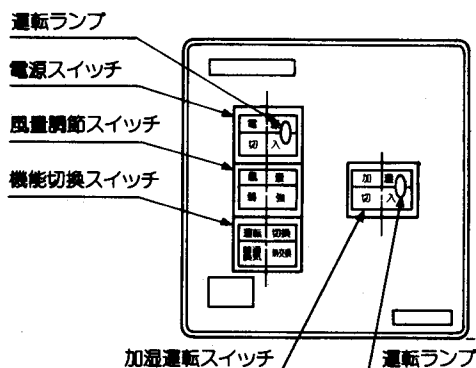


ご使用方法

- 電源スイッチを入にしますと、運転ランプが点灯し運転します。
- 風量調節スイッチでお好みの風量をお選びください。
- 機能切換スイッチを操作してください。

	機能切換スイッチ
夏冬の冷暖房時	熱交換換気にします。
春秋の中間期	普通換気にします。

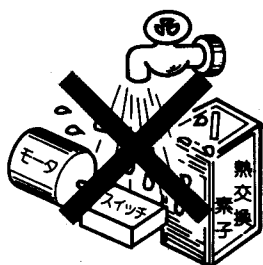
- 加湿運転スイッチを入にしますと、運転ランプが点灯し、加湿運転します。



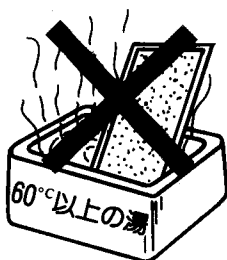
お手入れの方法

長期間熱交換気ユニットを運転しますと熱交換気ユニットのフィルターにゴミやホコリがたまり、換気風量が減るなどして換気効果がわるくなります。フィルター、熱交換素子に付着したゴミ、ホコリを定期的に清掃してください。

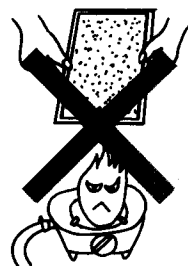
モーター、スイッチ、熱交換素子には絶対に水をかけないでください。



フィルターなど、樹脂部品は60℃以上の湯に浸さないでください。

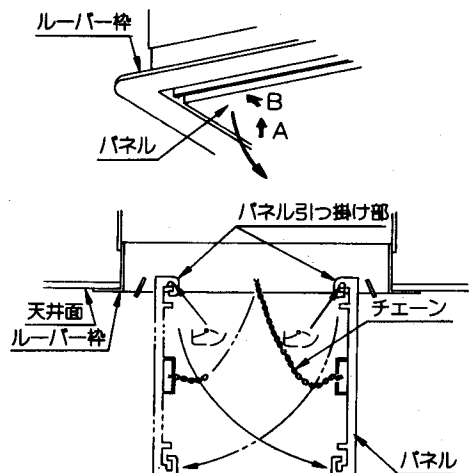


熱による乾燥はさけてください。変形・変質の原因になります。



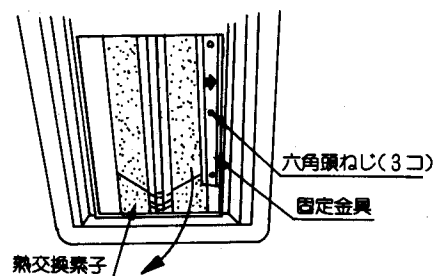
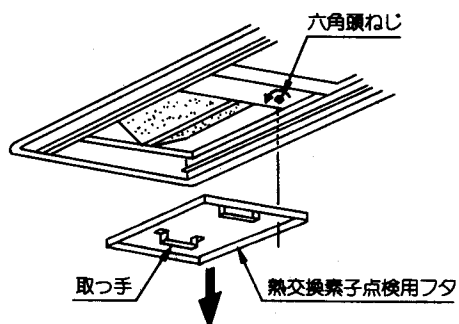
■パネルの開けかた

- ①パネルの長手方向の両端を矢印Aの方向へ軽く押し上げ、矢印Bの方向へずらしてパネルを開けてください。
- ②パネルは右図のように2方向に開けることができます。(→方向と←→方向)



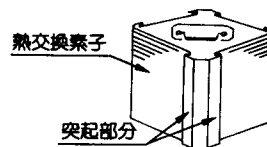
■熱交換素子の取り出しかた

- ①熱交換素子点検用フタをはずしてください。
 1. 六角頭ねじ6本をゆるめてください。
(E50BR1Lは8本)
 2. 取っ手をしっかりと持って熱交換素子点検用フタをはずしてください。
- ②熱交換素子を取り出してください。
 1. 六角頭ねじをゆるめ、固定金具を外側にずらしてください。
 2. 熱交換素子を支えながら、手前側の熱交換素子の突起部分を持って回転させるように下へ引き、取り出してください。



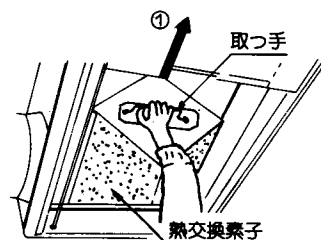
●固定金具を外側にずらすときには、必ず熱交換素子を手で支えてからおこなってください。

3. 奥側の熱交換素子の取っ手を持って矢印①の方向に引き出し、2. の手順で取り出してください。



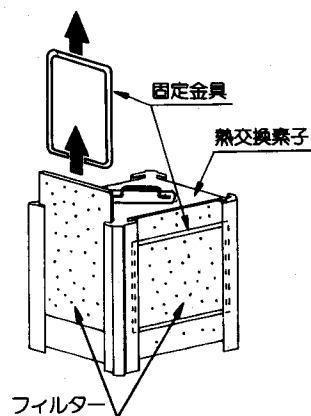
●熱交換素子は下表に示す質量がありますので落とさないようにしっかりと持ってください。

品 番	質量(kg/個)	使用個数
FY-E25BR1L	6.5	1
FY-E50BR1L	5.0	2



■フィルターのはずしかた

- ①フィルター固定金具をはずします。
- ②熱交換素子のフィルターをはずします。



■フィルターのお掃除（年に1～2回）

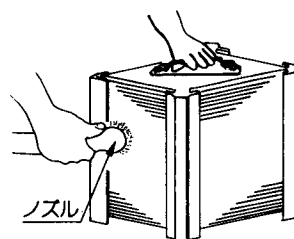
- ①取りはずしたフィルターは軽く手ではたくか掃除機でホコリを吸い取ってください。汚れがひどいときは、台所用洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して押し洗いしてください。
- ②フィルターは十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

熱による乾燥は避けてください。変形・変質の原因になります。

■熱交換素子のお掃除（年に1～2回）

- ①フィルターを先に取りはずしてください。
- ②掃除機のノズルで表面のゴミ・ホコリを吸い取ってください。

- 掃除機のノズルは、軽く当てて清掃してください。
ノズルを強く当てますと、熱交換素子の目がつぶれることがありますので、避けてください。
- 熱交換素子は絶対に水洗いしないでください。



- ③お掃除が終わりましたら、熱交換素子、フィルターを元どおりに納めてください。

- フィルターは必ず入れてください。入れ忘れま
すと、熱交換素子が目づまりを起こし性能が低下
します。

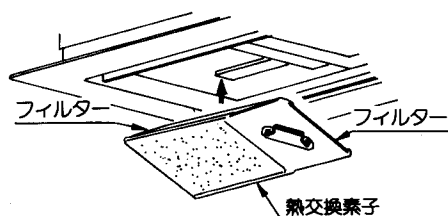
台所用洗剤を浸した布をよくしぼって汚れをふきとってください。

- ご使用のパネルが建材の場合には水に濡らさないように、きれいなかわいた布でほこりをふきとってください。

■お手入れ後の組立かた

①フィルターを爪のある面に取り付けてください。

- フィルターは硬い面が熱交換素子側になるように取り付けてください。
- フィルターは熱交換素子からはみ出さないように取り付けてください。



②フィルター固定金具を付けてください。

③熱交換素子を取り付けてください。

フィルターの付いた面を下にして取り出しかたと逆の順序で本体の中へ取り付けます。

④熱交換素子点検用フタを取りはずしと逆の順序で取り付けます。

⑤パネルを取り付けてください。

パネルの開けかたと逆の手順で閉じてください。

- チェーンのフックの引っ掛けおよび、パネル枠の引っ掛けが不完全ですとパネルが落下しますので完全にはめ込んでください。
- パネル取り付け時にルーバー枠とパネルの間にチェーンをはさまないようにしてください。

■長い間ご使用いただくため、下記の加湿器の定期的な点検をお求めの販売店または工事店に必ず依頼してください。

点検部品	点検時期	点検項目	点検内容	点検のポイント
加湿器	加湿シーズン 開始時	加湿の有無	加湿板が湿っているか 確認	湿っていなければ3年ごとの点検 を実施（下記部品すべて）
キャピラリー チューブ	3年ごと	加湿板の汚れを 点検	汚れている場合は清掃	台所用洗剤を溶かしたぬるま湯に 浸して軽く洗う
減圧弁 ストレーナー		給水の有無	給水量が不足している 場合は交換	定期的に交換する（通常3年ごと）
Y型 ストレーナー		目づまりの点検	目づまりが生じている 場合は清掃	ごみをきれいに取り除く
ドレンパン		目づまりの点検	目づまりが生じている 場合は清掃	ごみをきれいに取り除く
		ごみの付着等確認	清掃（ごみを取り除く）	配管のつまり防止のため特に排水 口付近をきれいにする

- ・暖房期間中以外は、不用意な加湿を防止するため、給水/バルブを閉じておいてください。
- ・加湿器を長期間使用しない場合は、給水/バルブを閉じておいてください。

アフターサービスについて

■点検のお願い

正しく安全にご使用いただくために、メンテ契約をおすすめいたします。

詳しくはお買い求めの販売店または工事店にお問い合わせください。

■故障!?と思われましたら

次の表に従って調べていただき、異常のあるときには、必ずスイッチを切ってから、お買い求めの販売店または工事店に修理を依頼して（またはご相談）ください。

症 状	調べるところ
スイッチを入れても動かない （風が出てこない）	●ヒューズ切れやブレーカー落ちしていませんか？ ●停電していませんか？
加湿しない （加湿板が湿っていない）	●点検または修理を依頼してください

■補修用性能部品の最低保有期間

熱交換気ユニット（換気扇）の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕 様

項目	品番	FY-E25BR1L(カセット式ルーバー取付時)				
電 源		1φ 100V 50/60Hz				
機 能		熱 交 換 換 気			普 通 換 気	
風 量 調 節		(特強)	強	弱	(特強)	強 弱
消 費 電 力(W)		69/79	66/76	53/54	69/79	66/76 53/54
風 量(m³/h)		270/270	250/250	170/150	270/270	250/250 170/150
機外静圧 (Pa)		29/49	20/29	15/20	29/49	20/29 15/20
騒 音(dB)		37/37	34/34	29/28	38/38	35/35 29/29
熱 交 換 率(%)		74/74	75/75	78/79	—	— —
加 湿 量(kg/h)		0.65/0.65	0.62/0.62	0.53/0.46	—	— —
給 水 量(kg/h)		2.4/2.4	2.4/2.4	2.4/2.4	—	— —
外 形 寸 法(mm)		幅968(985)×奥行876(911)×高さ440(455)				
質 量(kg)		本体50 カセット式ルーバー7.1				

項目	品番	FY-E50BR1L(カセット式ルーバー取付時)				
電 源		1φ 100V 50/60Hz				
機 能		熱 交 換 換 気			普 通 換 気	
風 量 調 節		(特強)	強	弱	(特強)	強 弱
消 費 電 力(W)		170/195	162/182	120/125	170/195	162/182 120/125
風 量(m³/h)		550/550	500/500	310/280	550/550	500/500 310/280
機外静圧 (Pa)		20/29	15/20	10/10	20/29	15/20 10/10
騒 音(dB)		39/39	37/37	30/30	40/40	38/38 31/31
熱 交 換 率(%)		74/74	75/75	79/79	—	— —
加 湿 量(kg/h)		1.16/1.16	1.15/1.15	0.78/0.71	—	— —
給 水 量(kg/h)		4.0/4.0	4.0/4.0	4.0/4.0	—	— —
外 形 寸 法(mm)		幅1458(1467)×奥行876(911)×高さ460(475)				
質 量(kg)		本体76 カセット式ルーバー8.9				

(ご注意) 上記数値は基準機外静圧における値を示します。
 (但し、騒音値のみ機外静圧 0 Pa における値を示します。)
 外形寸法の()表示はルーバー部分を含んだ数値です。

販 売 店 名		お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日
最寄りの ご相談センター		品 番	

取付工事が完了しましたら、必ずこの説明書を需要家様にお渡しください。

松下エコシステムズ株式会社 環境システム事業部

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町4017